

安全データシート(SDS)

製品名	洗浄バッファー1(RW1)
1.化学物質等及び会社情報	
1.1 製品	
化学物質等の名称	塩酸グアニジン(グアニジン塩酸塩)、エタノール(エチルアルコール)
製品名	洗浄バッファー1(RW1)
製品番号	FastGene™ RNA Basic Kit(FG-80006、FG-80050、FG-80250) FastGene™ RNA Premium Kit(FG-81006、FG-81050、FG-81250)
1.2 化学物質等の関連用途と推奨用途	
化学物質等の推奨用途と使用上の制限	専門ユーザー向け研究用試薬
1.3 供給者情報	
供給者の会社名称	日本ジェネティクス株式会社
住所	〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階
電話番号	03-3813-0961
ファックス番号	03-3813-0962
電子Eメールアドレス	info@genetics-n.co.jp
緊急連絡電話番号	03-3813-0961(祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分)
2.危険有害性の要約	
2.1 物質又は混合物の分類	
GHS分類	
引火性液体	区分2
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
特定標的臓器毒性 – 単回暴露	区分3 (中枢神経系)
2.2 GHSラベル要素	
EC規制No 1272/2008 [CLP/GHS]によるラベリング	
危険有害性絵表示	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	H225 引火性の高い液体及び蒸気 H315 皮膚刺激を起こすことがある。 H319 強い眼刺激を起こすことがある。

注意書き		
安全対策	P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙	
	P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。	
2.3 その他の危険有害性		
有害性不明成分の濃度は0.1%以下		
3.組成及び成分情報		
単一製品又は混合物の区別	混合物	
化学名又は一般名	CAS No.	濃度 (%)
塩酸 Guanidiniin (Guanidiniin 塩酸塩)	50-01-1	5-15
エタノール (エチルアルコール)	64-17-5	2.5-10
4.応急措置		
4.1 応急措置		
一般情報	危険な場所から移動する。 本SDSを担当医師に示す。	
吸入した場合	被災者が意識のない場合、回復体位にし医師の手当てを受ける。 症状が続く場合、医師に相談する。	
皮膚に付着した場合	直ちに石鹼と大量の水で洗浄し、汚染されたすべての衣服及び靴を脱ぐ。 症状が続く場合、医師に相談する。	
眼に入った場合	直ちに大量の水で目を洗浄する。 コンタクトレンズをはずす。 無事な眼を保護する。 15分以上大量の水でよく洗浄し医師に相談する。	
飲みこんだ場合	間違って飲みこんだ場合は、直ちに医師の手当てを受ける。 水で口を洗浄する。 意識のない被災者の口に物を入れてはならない。	
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	眼を重度に損傷することがある。 重度のやけどをすることがある。	
医師に対する特別な注意事項	特になし	
5.火災時の措置		
適切な消火剤	水スプレー、耐アルコール性泡沫剤、粉末化学物質、二酸化炭素	
特有の危険有害性	消火剤を排水溝や水路に入れないこと。 分解成分への暴露は健康に有害である可能性がある。	
有害燃焼物質	特になし	
特有の消火方法	火災及び/又は爆発が起こった場合、煙を吸引してはならない。 完全密閉容器を水噴霧で冷却する。	
消火を行う者の保護具	必要に応じて自給式呼吸器を着用する。	

6.漏出時の措置			
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	<p>個人用保護具を着用する。 適切な排気を必ず行う。 発火源をすべて除く。 安全な場所に避難する。 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸引しないこと。 蒸気を蓄積させ爆発限界にならないよう注意する。蒸気は低い場所に集まりやすい。</p>		
環境に対する注意事項	<p>流出物は排水溝に入れないこと。 作業が安全であれば、さらに漏れ、流出を防ぐこと。</p>		
封じ込め及び浄化の方法及び機材	<p>流出物を封じ込め、燃焼性のない吸収剤で回収し（例えば、砂、土、珪藻土、パーミキュライト）、地方自治体/国の定める規制（13.参照）に準じ廃棄用容器に入れる。</p>		
7.取扱い及び保管上の注意			
安全取扱い注意事項	<p>エアロゾルを発生させないこと。 蒸気/粉塵を吸入しないこと。 暴露しないこと - 使用前に特別な取扱説明書を入手すること。 皮膚および目に触れさせないこと。 人体保護については、本書8を参照のこと。 製品使用場所では喫煙、飲食はしないこと。 実験室では十分な換気及び/又は排気を行うこと。 内容物に圧力がかからないよう注意して容器を開けること。 洗浄水を地方自治体及び国の規制にしたがい廃棄すること。</p>		
安全な保管条件	乾燥し換気性の良い場所で、容器を密封して保管すること。		
混触危険性を含む物質	酸化剤及び自己発火性物質と混在させないこと。		
8.暴露防止及び保護措置			
8.1 管理パラメーター			
生物学的職業暴露限度			
成分 (CAS-No.)	指標 (暴露形態)	管理濃度/許容濃度	基準
エタノール (64-17-5)	TWA	1,000 ppm 1,920 mg/m ³	GB EH40
その他情報	特定の短期暴露限界値がない場合、長期暴露限界値の三倍の値を使うこと。		
8.2 暴露管理			
個人用保護具			
呼吸用保護具	蒸気が発生した場合、適切なフィルターのついたマスクを使用すること。		
手の保護具 所見	材質だけでなく他の品質に関し、単一のメーカーに限らず他のメーカーからも適切な手袋を選択する。透過性と破損時間はメーカーの情報に注意し、特別な職場の状況（機械的ひずみや接触時間）にも注意する。		
材料	保護手袋		
眼の保護具	保護用ゴーグルをぴったり着用する。 異常プロセスの場合のため保護面及び保護衣を着用する。 洗眼器及び安全シャワーを職場の近くに必ず設置すること。		

皮膚及び身体の保護	職場の危険物の量と濃度により身体の保護具を選択する。 化学物質用の保護靴を着用すること。 作業者は静電気の発生しない靴を着用すること。
衛生対策	製品を飲食物の近くに置かないこと。 休憩前及び作業終了時には手を洗うこと。 特に狭い場所では適切な排気をかならず行うこと。 皮膚及び目に触れさせないこと。 製品の使用中は飲食、喫煙しないこと。
9.物理的及び化学的性質	
9.1 物理的及び化学的性質情報	
外観(物理的状態)	液体
色	データなし
臭い	特有の臭い
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
火炎燃焼性(固体、気体)	データなし
引火又は爆発範囲の上限	データなし
引火又は爆発範囲の下限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
密度	データなし
比重	データなし
水への溶解度	データなし
その他溶媒への溶解度	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	未定
分解温度	データなし
粘度	データなし
動粘度	データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
9.2 その他情報	

データなし	
10.安定性及び反応性	
10.1 反応性	
指定通り保管及び使用する場合、製品は分解しない。	
10.2 化学的安定性	
指定通り保管及び使用する場合、製品は分解しない。	
10.3 危険有害反応の可能性	
危険有害反応	推奨保管条件下で安定。 燃焼条件で有害な分解物が発生する。 蒸気は空気と爆発性混合物を生成することがある。 酸化剤及び酸性またはアルカリ性製品の近くに置かないこと。
10.4 避けるべき条件	
避けるべき条件	熱、炎及び火花
10.5 混触危険物質	
避けるべき物質	データなし
10.6 危険有害な分解生成物	
危険有害な分解生成物	指定通り保管及び使用する場合、製品は分解しない。
11.有害性情報	
11.1 有害な影響の情報	
急性毒性	
製品	
急性経口毒性	データなし
急性吸入毒性	データなし
急性経皮毒性	データなし
成分	
塩酸 Guanidine (Guanidine 塩酸塩)	
急性経口毒性	LD50 経口 (ラット) : 1,120 mg/kg
エタノール (エチルアルコール)	
急性経口毒性	LD50 経口 (ラット) : 10,470 mg/kg
急性吸入毒性	LD50 経口 (ラット) : 20,000 ppm 暴露時間 : 10時間
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
製品	
所見	皮膚を刺激することがある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	

製品	
所見	眼を不可逆的に損傷することがある。
成分	
エタノール(エチルアルコール)	眼刺激性
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
皮膚感作性	データなし
呼吸器感作性	データなし
生殖細胞変異原性	
データなし	
発がん性	
データなし	
生殖毒性	
データなし	
特定標的臓器毒性 - 単回暴露	
データなし	
特定標的臓器毒性 - 反復暴露	
データなし	
吸引性呼吸器有害性	
データなし	
その他情報	
製品	
所見	溶媒は皮膚を脱脂することがある。
12.環境影響情報	
12.1 生態毒性	
製品	
魚類有害性	データなし
藻類有害性	データなし
バクテリア類有害性	データなし
12.2 残留性と分解性	
成分	
塩酸グアニジン(グアニジン塩酸塩)	
生分解性	方法:OECD 試験ガイドライン 301C 所見:生分解性試験結果により製品は容易に生分解しない。
12.3 生物蓄積性	
製品	

生物蓄積性	データなし
オクタノール/水分配係数	データなし
成分	
塩酸グアニジン(グアニジン塩酸塩)	
オクタノール/水分配係数	log Pow : 約 -1.7 (20°C)
12.4 土壤中の移動性	
データなし	
12.5 他の有害影響	
データなし	
13.廃棄上の注意	
13.1 廃棄方法	
残余廃棄物	認可された廃棄物処理業者に送る。 有害廃棄物として地方自治体および国の規制に従い廃棄すること。
汚染容器及び包装	未使用製品として廃棄すること。 空になった容器は再使用しないこと。
14.輸送上の注意	
14.1 国連番号	
危険物として規制されない。	
14.2 国連出荷正式名	
危険物として規制されない。	
14.3 輸送における国連危険有害性クラス	
危険物として規制されない。	
14.4 容器等級	
危険物として規制されない。	
14.5 環境有害性	
危険物として規制されない。	
14.6 使用者のための特別予防措置	
輸送規制の観点から危険物として区分できない。	
14.7 大量輸送(MARPOL 73/78附属書Ⅱ及びIBCコードによるバラ積み輸送される液体物質)	
対象外	
15.適用法令	
化審法	特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質には該当しない。
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令別表第9) 化学名:エタノール、番号:61、濃度又は濃度範囲:2.5~10%

	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条、施行令別表第9) 化学名:エタノール、番号:61、濃度又は濃度範囲:2.5~10%
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
PRTR法(化学物質排出把握管理促進法)	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物
国内及びその他の国の要求事項	当該国の国際法令に準ずること。
16.その他の情報	
本情報は当社の現在の知見に基づく。しかしながら、本情報はいかなる特定製品の特性を保証するものではなく、法的に有効な契約関係を築くものでもない。	